

こちら
子どもスポーツ診療室

17

アキレス腱は人体では最も大きく、強い腱で、足首の関節を前方に曲げる際に、ふくらはぎの筋肉の力をかかとの骨に伝える役割を担う。サッカーやバスケットボールといった競技でジャンプや急激な方向転換、全力疾走をしたときに、瞬時に大きな負荷がかかって断裂してしまうことがある。治療には時間を要し、きちんと治さないと再発の恐れもある。またしま田岡病院整形外科の板東和寿医師に症状や治療法を聞いた。



板東和寿医師

アキレス腱が断裂すると、後ろから足首を蹴られた「ボールをぶつけられた」などと、何かに激しく当たったような痛みを感じるのが特徴で、つま先立ちができなくなる。腱が断裂しても足首を動かすことは可能で、何とか体重をかけて歩くこともできる。ただ、時間の経過とともに腫れがひどくなるので、患部を冷やし、早めに整形外科医に診てもらおう。

医師が診断する際は、患者にうつぶせになってもらい、ひざを直角に曲げた状態で足首の辺りを観察する。アキレス腱が断裂している場合は、断

アキレス腱断裂

治療後のリハビリ大切



競技への早期復帰には不利な点もある。再断裂の恐れも少なくない。手術療法は、患部を切って縫合する。断裂部をしっかりと糸で縫い合わせるため、ギプスの固定期間短縮や早期リハビリにつながる。半面、足首の関節のこわばりやしびれ、患部の感染症などのリスクがある。

保存治療は、ギプスや装具を装着し、つえを使って足に体重をかけないよう生活する。ギプスで6週間ほど固定した後、さらに約4週間は装具を着ける必要がある。手術に比べて安全性や傷が残らないなどの利点はあるものの、リハビリを始める時期が遅れるため、断

競技への早期復帰には不利な点もある。再断裂の恐れも少なくない。手術療法は、患部を切って縫合する。断裂部をしっかりと糸で縫い合わせるため、ギプスの固定期間短縮や早期リハビリにつながる。半面、足首の関節のこわばりやしびれ、患部の感染症などのリスクがある。

(山口和也)